

神戸市営押部谷住宅

押部谷住宅は、RH構法を用いて95年8月に完成した。工事中に阪神・淡路大震災があったものの地震による被害はなかった。当団地は、敷地面積約4,250 m²、計画戸数35 戸（階段室型）と集会所からなる。敷地は奥行き最大約35m で細長い形状をしており、周辺に戸建て住宅が近接し、道路も狭く、地盤条件も良好とはいえない厳しい条件を持っており、RC 造で建設した場合は多くの障害が予想された。木三共は、躯体が軽いため基礎が簡易ですみ、大型工事車両の交通量も少ないなどのRC 造にはないメリットがあり、そのメリットを当敷地条件に生かした。

所在地	兵庫県神戸市
発注者	神戸市
用途	市営住宅（35戸）
構造・規模	木造（RH構法）・地上3階
竣工年	1995年
備考	神戸市まちなみ景観賞